

# 勢和小学校だより

発行日：令和6年4月8日 第1号



職員一丸となって頑張ります。よろしくお願ひします

担当	名前	備考	担当	名前	備考
校長	小山 直俊		専科	山崎 伊都子	
教頭	寺谷 寿美	相可小より	専科	小林 恵利	新規採用
1年	田中 里佳		専科	伊藤 典子	新規採用
2年	森下 尚美	相可小より	初任者研修補充	中村 真奈美	教育委員会兼務
3年	百田 純子		養護教諭	油田 奈保	
4年	坂口 奈紀沙	大河内小より	事務職員	山中 真帆	
5年	服部 諒	新規採用	図書館司書	尾藤 あゆみ	
6年1組	山路 鷹貴		校務員	伊藤 孝子	
6年2組	森田 竜矢		学校支援員	伊藤 さおり	
ささゆり1	小林 大悟		学校支援員	黒木 さとみ	
ささゆり2	爲安 亜紀		学校支援員	竹森 圭美	
ささゆり3	一ノ谷有加里		学校支援員	中島 美加	
初任者研修指導教員	小倉 啓孝	初任者指導教官	学校支援員	中瀬古 直子	
専科	星合 智子				

入学、進級おめでとうございます。「心新たに仰ぎつつ 光を抱く 若き夢」と勢和小校歌1番の歌詞にあるように、子ども達は入学、進級の希望を抱き、ワクワクしていることと思います。一方で、不安を感じている子ども達もいるかも知れません。児童理解を進め、子ども達の困り感を解消しながら、充実感や達成感につなげていきます。本年度もよろしくお願ひします。

さて、本校の学校教育目標は「自ら楽しさを創り出す勢和の子」です。「楽しさ」とは、勉強が分かること、できないことができるようになること、克服・達成、自分の成長に気づく楽しさ、人と関わる楽しさ、人の支えを感じる安心感、課題を解決すること、快適な環境、健康な体など多くの意味を込めています。そして「自ら創り出す」とは挑戦するということです。やってみて、うまくいかなかった時には、何がよくないのか、考えて、工夫改善し次につなげようとする子どもを育てることが目標です。

また教育目標実現のため、「安心・安全な学校」を重要な柱として位置づけています。

子ども達にとって安心できる学校とは、前述した内容と重なりますが、学校生活の大半を占める授業が分かり、いじめや体罰などのない学校です。子どもたちが密に関わり、自分を出せる環境であることも安心できる学校でしょう。それらの基盤には、事故やケガ、災害被害などの心配がない安全な環境が整備されていることも

大切です。また学校は、保護者の皆さんにとっても安心・安全な学校になっていなければなりません。子どもたちが、また明日も行きたいと思える学校を築くことや、保護者の皆さんの困り感を共有し、課題解消に向けて一緒に取り組むことを大切にしていきます。

一方で、全国的に教職員の働き方改革が求められ、本校でもスクール・サポート・スタッフを導入するなど教職員の業務分担を減らす取り組みを進めています。業務の精選、適正化を図り、教職員の多忙化を解消し、教職員にとって安心・安全な学校を築いていきます。保護者の皆様にはご理解とご協力をお願いします。

## グーチョキパーを意識して

始業式、入学式では昨年度と同様ですが、グーチョキパーに例えて話をしました。

**グー：最後まで諦めないで頑張ろう。**

自分の決めた目標を達成するように、日頃から「まっいいか」ではなくて「もうちょっとやってみよう」を続けよう。

**チョキ：みんながニコニコなるように、意地悪な心、卑怯な心を切り落とそう。**

相手の考えや思いを聴くことは最大限の人権尊重です。その上で自分の考えを主張し、みんながニコニコできるよう工夫していきましょう。

**パー：元気に挨拶しよう。**

「あかるく、いつでも、さきに、つづける」挨拶で勢和小学校や勢和地域を明るく元気にしましょう。

## 新6年生大活躍

5日（金）には新6年生が登校し、入学式の準備をしました。式場となる体育館や1年生教室など校舎の掃除をしたり、式場設営、飾り付けをしたりしました。重い演台を運んだり、式場に飾るパンジーのプランターを丁寧に拭き掃除したり、また自分の仕事が終わったら友だちの仕事を手伝ったりするなど、意欲的な姿が印象的でした。

新6年生として1年生の入学を祝福しているようでした。



## 転出職員紹介

職員名	転出先等	職員名	転出先等
尾上佳代子	多気町津田小 教頭	石田 智紀	鈴鹿市鈴西小
森川 幸恵	明和町上御糸小教頭	須賀 智愛	津市育生小
廣 直起	紀宝町成川小 教頭	中頭 正明	明和町下御糸小
伊藤 陽子	大台町宮川小	戸川 真一	退職

大変お世話になりました。